



東亜道路工業

東亜道路工業が20〜23日 発表した。研修を通して社 力した。秩父市への移動は、の4日間、入社3年目の社員 西武鉄道が運行する4両編組を対象に研修を行った。るつつ、モチベーションアップで定員52人の観光列車「52席の至福」を貸し切った。2日目からは埼玉県秩 入社3年目研修はこれまた。

秩父市で入社3年目研修

父市にある地場産業センタ で東京都港区の本社で行っ 研修では秩父市などがーで課題に取り組んだ。ど ていた。今回初めて自治体 「魅力ある地域に根差したうすれば秩父地域に人を呼 らと連携し本社以外で実 公園の開発」や「住む人とび込み、新たなにぎわいに 施。西武鉄道や秩父地域お 訪れる人が豊かさを共有でつなげられるかを、グルー もてなし観光公社、秩父市 きる道路（街）の提案」をプに分かれて議論。結果を 役所、秩父札所連合会が協 含めた四つの課題を提示。

地域の課題解決へ議論

社員は取り組みたいテーマを選び、現地視察や意見交換、発表などを行った。22日には清野和彦市長が研修会場を訪れた。「秩父は課題が多い地域だ。少子高齢化のスピードが埼玉県の平均よりも15年早い。私たちが新しいアクションをすることが県全体、ひいては全国の過疎地にとって役に立つはずだ。皆さまの立場から携わっていただいたことに心から感謝申し上げます」と述べた。

